

事務事業名		大船渡ポートサイドマラソン大会運営支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画掲載事業																															
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目																															
	施策名	29 生涯スポーツの振興				会計	款	項	目																												
	基本事業名	03 スポーツ・レクリエーション活動の振興				01	10	06	01 03																												
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ																																	
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 63 年度～)																																	
	係名	体育振興係	電話 27-3111	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】																																	
			内線 275	年度～ 年度																																	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																																	
<p>・本市出身で、1984年開催のオリンピック・ロサンゼルス大会で初めて開催された女子マラソンに日本代表として出場した、故永田七恵(旧姓:佐々木)氏を顕彰し、スポーツの振興と体力の向上、健康の増進を図り、活力のあるまちづくりに貢献する。</p> <p>・市の事務は、主催団体の一員として大会実行委員会(事務局:大船渡市体育協会)への参加、コース設定に係る警察折衝、実行委員会事務局の運営補助、当日の大会運営全般へ携わる。</p> <p>・事業費は、大会実行委員会への補助金である。</p>				<table border="1"> <tr><td>総投入量</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>(千円)</td><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>				総投入量	国庫支出金		(千円)	都道府県支出金			地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量	国庫支出金																																				
(千円)	都道府県支出金																																				
	地方債																																				
	その他																																				
	一般財源																																				
	事業費計(A)	0																																			
人件費	正規職員従事人数																																				
	延べ業務時間																																				
	人件費計(B)	0																																			
	トータルコスト(A)+(B)	0																																			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
実行委員会、警察、JR等との折衝、要項・参加通知・記録の発送、駐車場等の借上げ、プログラムの作成、審判員への連絡、各種物品の手配、広報、開催周知等の大会運営、競技運営全般を行う。		ア	実行委員会開催回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同じ。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
一般市民		名称	
市外マラソン愛好家		単位	
		カ	募集要項発送数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
参加者が増加し、マラソン競技の普及拡大が図られる		名称	
		単位	
		サ	大会参加者数
		シ	上記のうち市外からの参加者数
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
スポーツ・レクリエーションが活発に行われる。			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
		事業費計(A)	千円	0	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間		400	400	400	400	400
		人件費計(B)	千円	0	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
⑤ 活動指標		ア	回	2	2	2	2	2	
		イ							
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	通	1267	1400	1400	1500	1500	
		キ							
		ク							
⑦ 成果指標		サ	人	586	700	700	800	800	
		シ	人	171	200	200	200	200	
		ス							

事務事業ID	1009	事務事業名	大船渡ポートサイドマラソン大会運営支援事業
--------	------	-------	-----------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	1984年のオリンピック・ロサンゼルス大会出場者である佐々木七恵氏を顕彰するため、および、それに続くランナーの発掘・養成等を目的に1988年から開催している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度からの指定管理者制度の導入に伴い、本大会の運営を指定管理業務とし、その受託者である大船渡市体育協会が大会事務局業務を行っている。 少子化による小中学生の参加者数の減少が顕著であり、参加者を確保するためには小中学校の協力を頼らない大会運営が重要になってきており、コース設定等についても警察当局の指導が厳しくなっており、大会運営が厳しくなっている。 記録集計の迅速化及び競技役員配置の効率化を図るため、19年度の大会からRCチップによる記録集計の自動化を図った。21年度にはさらに集計の正確性を期すため、RTタグを使用した。それに伴い、参加料の値上げをした。 平成24年度から男子の出場を含めた開催とした。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> 大会関係者からは、参加者の確保のため開催時期の固定化を求める意見もある 警察署より、主要な交差点等については、制服警備員を配置し、安全対策を強化するよう求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 陸上競技(マラソン・駅伝)の普及・振興を図ることによって、スポーツ・レクリエーション活動の振興に寄与している。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市民の体づくり等のスポーツ振興や、他市町村からの参加により大船渡市の地域活性化に寄与していることを鑑み、市が関与することが適切である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ・開催日について、より多くの参加者確保のための設定が求められている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 開催日の固定化や種目の新設などにより、さらなる成果をあげることが可能。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ ・七恵さんのこれまでの功績を知る人が少なくなる。 ・マラソン愛好者の出場機会の減少につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) ポートサイドマラソン大会と新春4大マラソン大会は、当市の体育・スポーツイベントとして定着した大きなイベントである。この2つの開催事業との連携により、事務事業の効率化と成果の向上が可能(イベントの統合ではない)。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 競技役員は陸上競技関係者がボランティアで行っているため、これ以上の事業費削減は他大会と比較してサービスが低下することとなり、困難であると考え。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 平成18年度より指定管理者制度を導入し職員の関与を減らしており、これ以上の人件費削減は困難であると考え。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 各参加者から参加料を徴収しているため、受益者負担は公平・公正であると考え。

事務事業ID	1009	事務事業名	大船渡ポートサイドマラソン大会運営支援事業
--------	------	-------	-----------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	開催日について、更なる検討が必要。																						
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 夏季の開催となることから、熱中症予防の措置を十分に講ずる必要がある。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 より多くの方が参加できるための日程等の調整について検討していく。																								

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果																						
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 評価結果の根拠と理由 適切な記述がなされている。																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 引き続き、事務を進める。																						
(5) 改革・改善による期待成果																						
左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
